

(4) 下水道水環境保全効果向上支援制度の創設

～ 新世代下水道支援事業制度の拡充～ (行政経費として要求)

1. 背景・目的

下水道整備を進めても、接続率が低迷している市町村においては、良好な水環境の創出効果が十分に発揮されない状況にある。接続率低迷の傾向は中小市町村ほど顕著であるが、接続に必要な資金の調達が困難であることが大きな要因となっている。

以上を踏まえ、下水道整備による水質保全効果をより一層高めるとともに、快適な水辺空間等の形成による地域活性化に資するため、地方公共団体が下水道の未接続の解消を目的として、トイレの水洗化及び排水設備の設置に助成する場合には、その額の一部を補助対象とするものである。

2. 概要

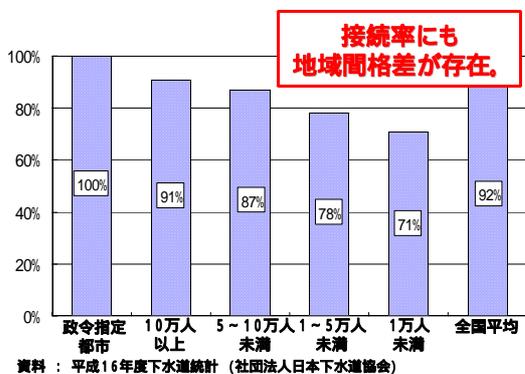
< 対象地域 >

良好な水環境の創出のために接続率の向上が必要とされる地域

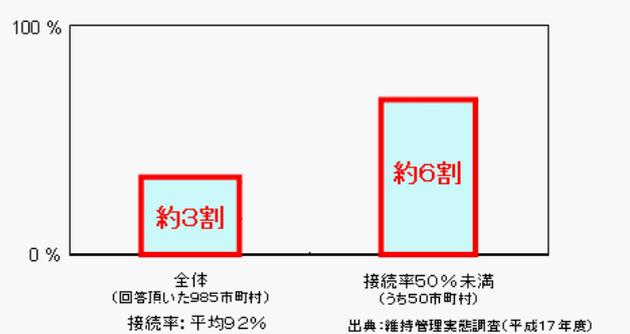
< 対象家屋等 >

トイレの水洗化及び排水設備の設置にあたり必要な資金の調達が困難な事情がある者等に対し、地方公共団体が助成する場合に、助成額の一部を国が補助する。

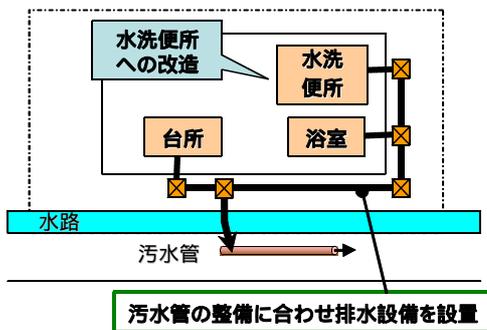
機能向上を目的とした下水道工事(合流区域における分流化など)に伴い必要となる排水設備の改造等に対し地方公共団体が助成する場合に、助成額の一部を国が補助する。



《未水洗化の理由のうち、経済的に困難である世帯数割合》



下水道整備に伴う排水設備の設置等のイメージ



合流式下水道の分流化に伴う排水設備の改造のイメージ

